

自然との調和の建設に



株式会社

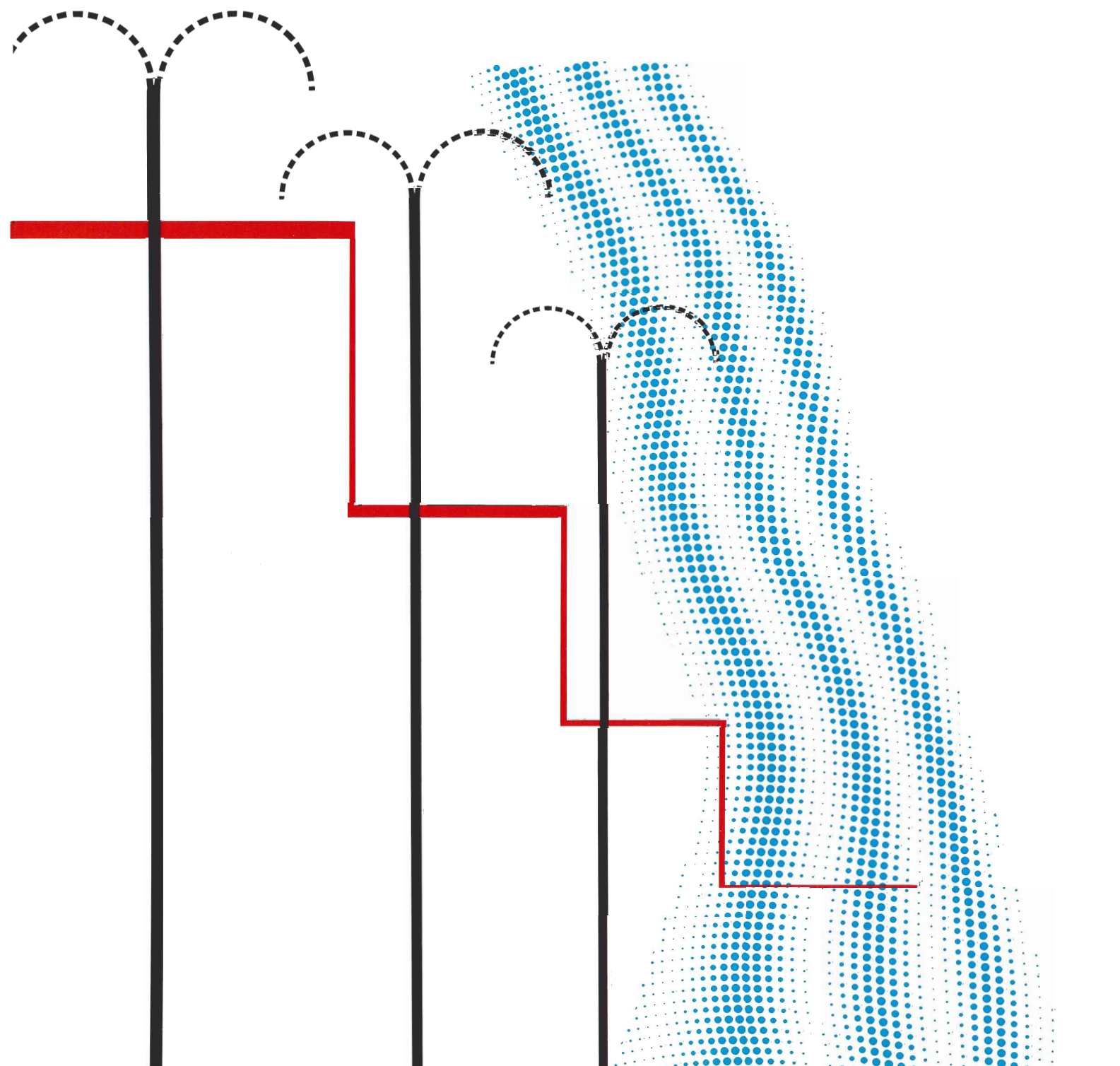
興和

融雪装置のベターコントローラー

# 雪こん 降雪検知器 KW1103型

降雪をすばやくキャッチ

適正な時に、適正な量をコントロール



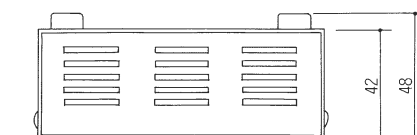
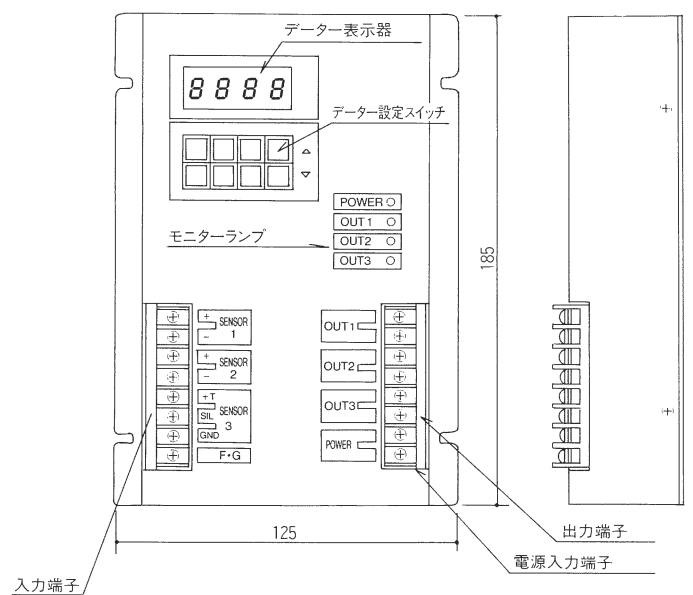
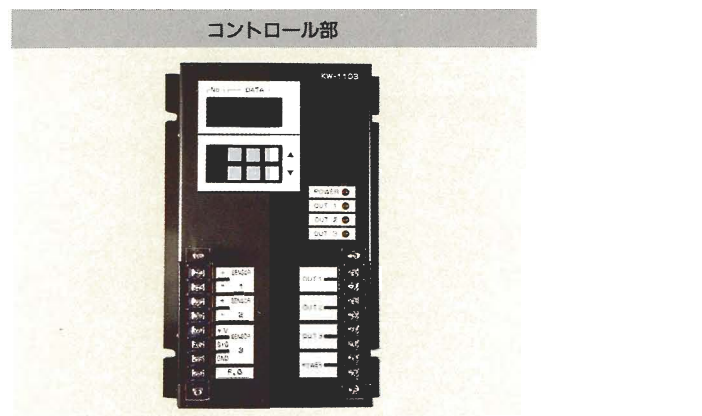
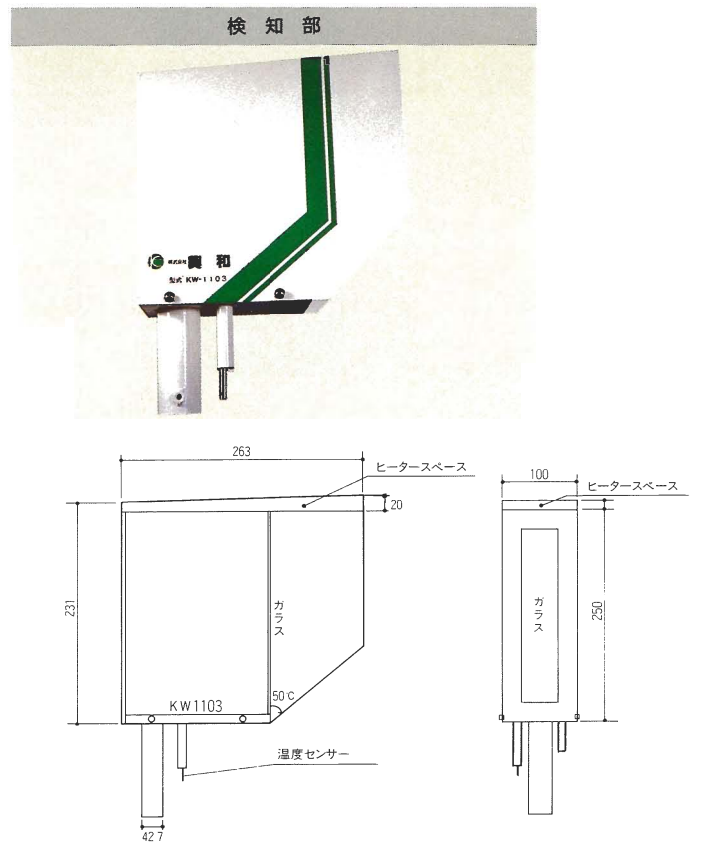
# いろんな所で いろんなことをしたい

あらゆる融雪装置の制御に  
省エネ・省資源でお手伝いする。

## 設置例



(制御盤内取付状況)

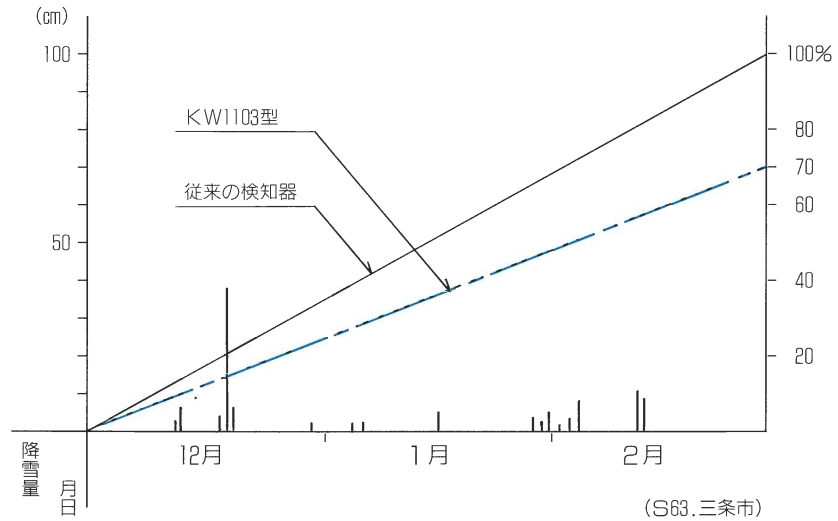


# 節電・節水

従来の検知器と電力消費量を同一地域、同一容量のポンプで比較すると、下図の表のように従来の方法にくらべ約30%の節電・節水となります。

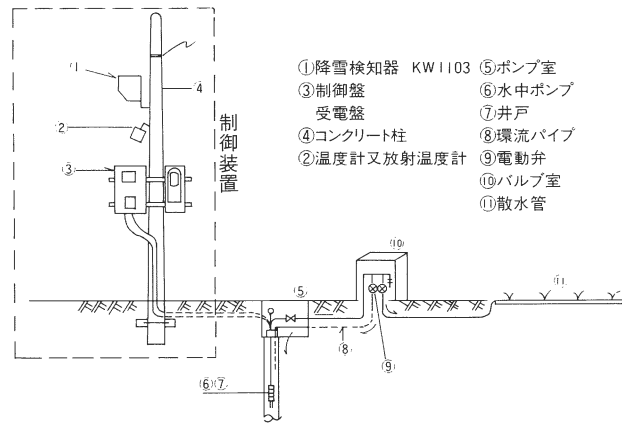
制御器	項目	降雪量	作動時間	節電割合	節水割合	路面露出率
従来	従来	7日間	33h	0	0	95%
	KW1103型	16cm	22h	30%	30%	95%

## 電力消費量比較図

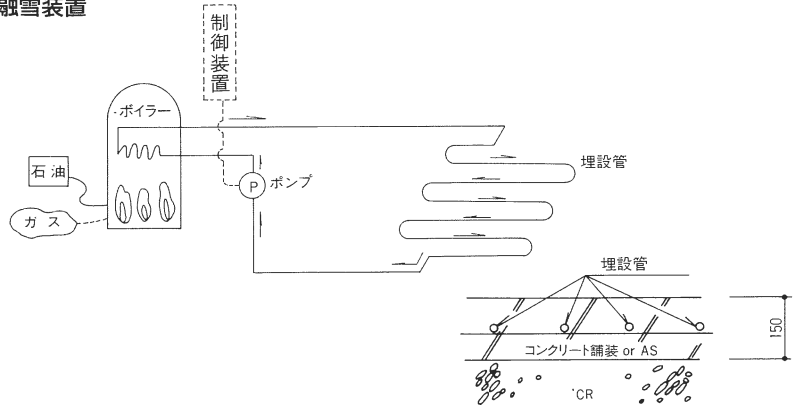


# 用途

### ■自動可変型消雪装置(段階散水方法)



### ■無散水融雪装置



### ■その他

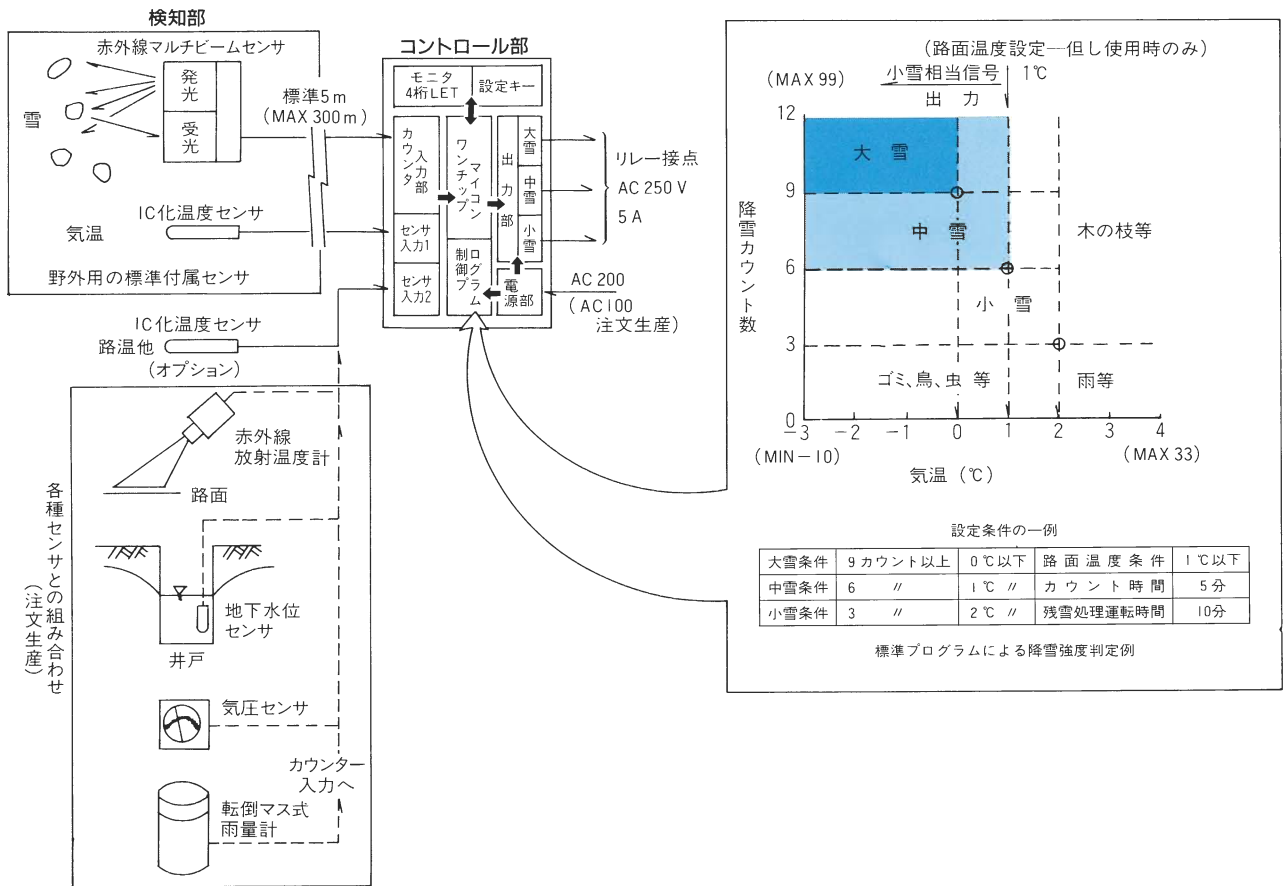
普通散水装置・屋根雪融雪装置・電熱利用融雪装置・歩道融雪装置 etc. 広範囲の融雪装置に



# システム構成

「雪こんKW-1103」には、1つのカウンタ入力端子と2つの電流出力型センサの入力端子を備えています。標準センサは落雪雪片の数をカウントする赤外線マルチビームセンサ（動く物体のみを検知）と気温センサ1個が付属しています。内蔵のマイコンはセンサからの信号と、あらかじめ設定された降雪カウント数と気温条件を比較判定して降雪強度に応じた大雪、中雪、小雪の3段階の制御信号を出力します。さらに、路温センサも組合せれば、無散水消雪施設の凍結防止やロードヒーティングの予熱運転も制御できます。

コントロール部には、降雪カウント数と気温及び路面温度の3要素による降雪強度の3段階判定プログラムが組み込まれています。また、設定条件は現地で簡単なキー操作により変更られますので、地域の実状に応じた降雪判定が可能です。さらに各種センサとプログラムの変更（有償）により、さまざまな融雪施設のコントロールも可能です。



# 特長

- (1)雪と雨の区別が出来ます。
- (2)検知部に着雪を防止するため、シリコンヒーターを内蔵し、感温リードスイッチにより一定の温度に保ちます。
- (3)風等の影響を防止するため、防雪フードが設けられています。
- (4)マイコン制御により、降雪量・気温・路温に応じた、出力の判定が自由に設定出来ます。
- (5)路面温度は、赤外線放射温度計との接続が可能です。
- (6)無散水融雪装置、散水融雪装置その他あらゆる融雪装置の制御が可能です。
- (7)小型・軽量な為設置スペースが小さくて良い。
- (8)降雪量に伴う、段階制御が可能です。
- (9)各種保護回路内蔵し、サージやノイズに強い。
- (10)回路部故障の場合は、出力は致しません。

(特許出願中)